

令和3年度
「お茶で北海道を美しく。」キャンペーン
助成活動報告



令和4年5月18日
NPO法人北海道遺産協議会

令和3年度「お茶で北海道を美しく。」キャンペーン 助成先一覧(計3件)

No.	遺産の名称	地域	団体名称	活動の名称	助成額
1	静内二十間道路の桜並木	新ひだか町	新ひだか町	静内二十間道路桜並木への桜の植樹活動	400,000
2	小樽の鉄道遺産	小樽市	NPO法人北海道鉄道文化保存会	鉄道遺産の活用「花と鉄路の散策路」春一番の花咲かそう	217,500
3	空知の炭鉱関連施設と生活文化	三笠市	三笠市	幌内炭鉱景観公園景観整備	182,500

1. 静内二十間道路桜並木への桜の植樹活動

- 実施主体：新ひだか町
- 実施団体URL：<http://www.shinhidaka-hokkaido.jp/>
(新ひだか町HP)
- 助成額：400,000円

—活動内容—

- 二十間道路桜並木は、「日本の道百選」「さくら名所百選」「北海道遺産」に選ばれるなど、他に類を見ない日本屈指、また世界に誇る桜の名所であり、後世に引き継いでいかなければならない「まちの宝」。老木化や異常気象などの強風による倒木・枝折れ、さらには害虫被害も深刻であるため、現在、樹勢回復事業に取り組んでいる。
- 助成金を活用し、エゾヤマザクラを植樹することができた。
- 植樹式は、株式会社伊藤園様主催で開催していただき、伊藤園様、北海道遺産協会、新ひだか町が出席して実施することができた。



遺産の名称：

「静内二十間道路の桜並木」
(新ひだか町)



二十間道路は、和種馬の大型改良のために1872(明治5)年に黒田清隆が進言し、静内町(現・新ひだか町)から新冠町にまたがる地域に開設した御料牧場のための行啓道路。龍雲閣まで直線で約7km、幅20間(約36m)にわたって両側に2,000本をこえるエゾヤマザクラなどの並木が続く。雄大な日高山脈を背景とした景観は我が国で類を見ないスケールとして知られる。

2. 鉄道遺産の活用「花と鉄路の散策路」春一番の花咲かそう

- 実施主体：NPO法人北海道鉄道文化保存会
- 実施団体URL：<http://www.tetsudo.in/>
(NPO法人北海道鉄道文化保存会HP)
- 助成額：217,500円

—活動内容—

1. 10月上旬に地域の稲穂小学校3年生と球根の植え込みを予定していたが、コロナ禍の影響により延期。11月5日に苫小牧のイコロの森様のご指導の下、49名の児童に植え込み方などの指導をして頂き実施することができた。
2. 花壇養生対策でウッドチップ(フレコン詰め)4袋購入し、チップの曳き詰めが完了した。



遺産の名称：

「小樽の鉄道遺産」(小樽市)



明治13年11月28日、小樽手宮一札幌間に、アメリカ人技師クロフォードの指導のもと、待望の鉄道が開通。2年後、幌内炭鉱に到達し、石炭の搬出が開始された。港一鉄道結節のまち小樽は急速に発展し、北海道の開発を先導するまちに成長。石炭から石油に、港も日本海から太平洋に移ったが、北海道の発展を支えた鉄道遺産は、国の重要文化財、鉄道記念物にも指定され、野外展示の約50両の車両を含め、鉄道技術の発展を示す貴重な近代遺産として保存されている。

3. 幌内炭鉱景観公園景観整備

- 実施主体：三笠市
- 実施団体URL：<https://www.city.mikasa.hokkaido.jp/>
(三笠市HP)
- 助成額：182,500円

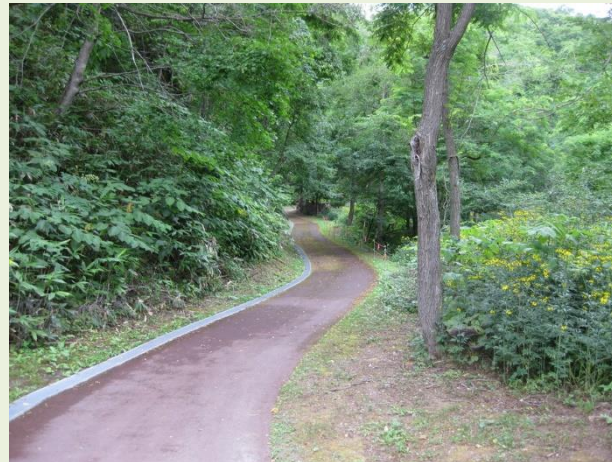
—活動内容—

- 幌内炭鉱景観公園の支障木を剪定及び撤去を行い、景観の確保と安全性の向上を図った。

▶ 作業中の様子



▼ 作業後



遺産の名称：

「空知の炭鉱関連施設と生活文化」（空知地域）



空知地域は、最盛期の代に約110 1960炭鉱、約1,750年万トンの規模を誇る国内最大の産炭地として、北海道開拓や日本の近代化を支えてきた。エネルギー政策の転換により1990年代には全ての炭鉱が閉山したが、立坑櫓や炭鉱住宅、独特の食文化や北海盆踊りなど、今でもヤマ（炭鉱）に関する多くの記憶を残している。